

田和山の森によろこそ!
森はみんなの大切な財産です。

松江市 田和山の森 ガイドマップ

自然観察にあたっては、下記の点に留意してください。

- (1) コース以外の道には立ち入らないようにしてください。未整備や危険な場所があります。
- (2) 植物の採掘や山菜、生花の切り取り、摘み草、採果、伐採などはしないでください。
- (3) 火の利用はすべて厳禁です。火気には十分注意してください。また、雨天の翌日などは急坂がすべったり、崖の崩壊などの心配があります。火災や災害、事故などには十分留意してください。
- (4) ゴミを見つけたら、拾って持ち帰るようお願いします。
- (5) その他、登山のマナーを守って散策してください。

大スギとフジ

山、海、川、豊かな自然に恵まれた島根県。その美しい自然に、いつでも誰でも手軽にふれあえるように作られているのが「自然観察モデルコース」で県内各所に設置されています。このリーフレットで紹介する「田和山の森」では、林床や観察路沿いに100種を超える動植物を観察することができ、山頂からは田和山の環壕遺跡が一望できます。



「田和山の森」の全景（平成16年10月撮影）

整備活動のようす

この森は、植林後長い間放置されていたため、竹の繁茂と病気が原因で、多くの樹木が枯れていました。この森を再生しようと、平成14年乃木地区の有志を中心に「里山を育てる会」が結成され、間伐や植樹などの整備が行われてきました。その結果、森の中に光が当たるようになり、これまで絶えていた草花も見られるようになりました。

里山を育てる会では、間伐材の利用を図りながら、現在週1回の整備活動を行い、また、小学校の総合的学習や公民館事業の親子学習会などで、自然学習の森として活用されています。



森の整備活動



竹の活用／苗の支柱づくり



森の学習（乃木小2年生）



植樹参加・総合的学習の発展（乃木小4年生）

平成18年3月発行

編集●「里山を育てる会」編集委員会

発行●島根県環境生活部自然環境課 TEL 0852-22-5347

！危険な動植物に注意！

自然の中に入っていくときは、それなりの準備をしましょう。基本的には、素肌を露出しないことです。特に注意が必要な動物は、スズメバチ、マムシです。

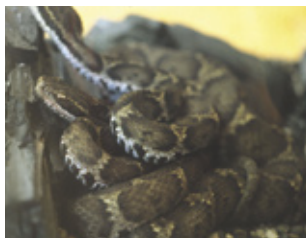
スズメバチは山林や人家付近に大型の巣を作って、夏や秋の昼間はクヌギ等の樹液や、熟した柿などに集まることが多いようです。土中に巣を作るスズメバチもいます。巣に近寄らないこと、巣に気づいたら静かに巣から遠ざかることです。ハチが飛来しても、手を振って追い払ったりせず刺激を与えないことです。

マムシは、猛毒を持っていて咬みつかれると危険です。ヘビを見たら1m以上遠ざかり、ヘビが逃げるのを待つか遠回りしましょう。草むらに入る時は、長靴を履き、穴の中や大きな石、倒木の下などにむやみに手を入れることはやめましょう。咬まれた時は、あわてることなく早急に病院で治療を受けましょう。

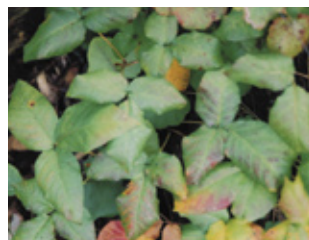
植物では、**ツタウルシ**、**ハゼノキ**のように触れるとかぶれるもの、**キズタ**や**カクレミノ**のように、樹液が肌につくとかぶれるものがあります。また、食べて中毒を起こす植物に**ヒヨドリジョウゴ**があります。この実は、食べられるフユイチゴと同じ頃に赤く熟すので誤って口に入れないようにしてください。キノコ類も中毒を起こすものが多いので素人判断で食用にしないことです。また、森の中には、トゲのある植物も多いので注意して行動してください。



スズメバチ (写真提供／三瓶自然館)



マムシ (写真提供／三瓶自然館)



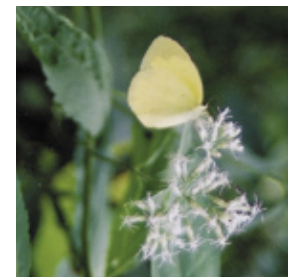
ツタウルシ



ヒヨドリジョウゴ



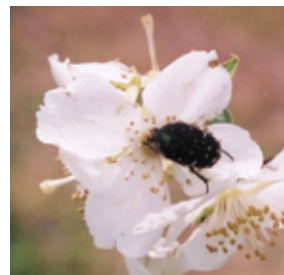
ベニシジミ



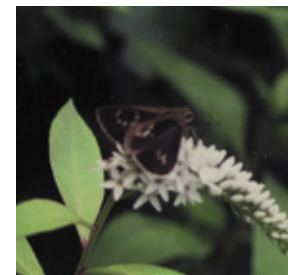
キチョウ



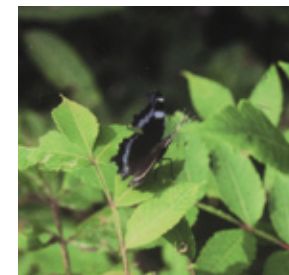
アゲハチョウ



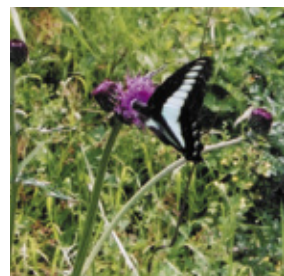
コアオハナムグリ



オオチャバネセセリ



ルリタテハ



アオスジアゲハ

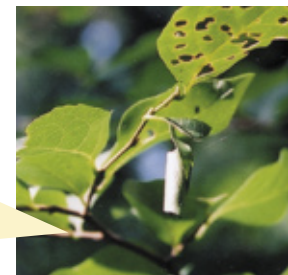


アオスジアゲハの蛹と前蛹



セマダラコガネ

オトシブミの仲間。毎年観察路沿いのエゴノキに見られます。エゴノキの葉をオトシブミの母虫が工作して、葉に卵を産みつけ、それを巧みにまいたものです。卵はここでふ化して幼虫になり、葉を食べて、蛹、成虫へと育ちます。

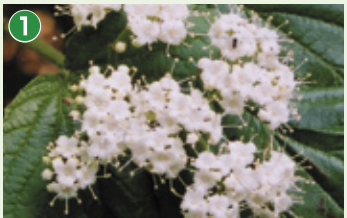


エゴツルクビオトシブミ (ハギツルクビオトシブミ)



オオカマキリ

● 田和山の森の虫たち ●



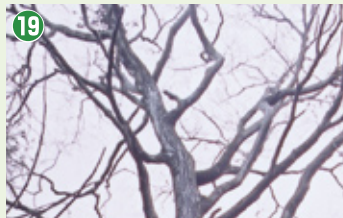
ガズミ／花(5～6月)



クロキの実／花(3～4月)



タブノキ／花(5月)



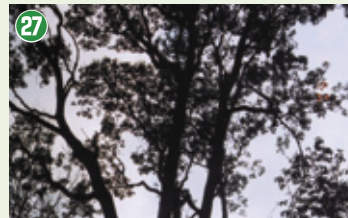
イヌシデ／花(4～5月)



エゴノキ／花(5～6月)



クサギ／花(8～9月)



アラカシ／花(4～5月)



ムラサキシキブ／花(6～7月)



ハゼノキの実／花(5～6月)



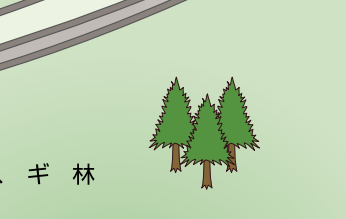
クヌギ／花(4～5月)



常緑樹と落葉樹の混交林



イヌシデ／花(4～5月)



スギ林



スギの植林／花(3～4月)



アラカシ／花(4～5月)



ヒサカキ／花(3～4月)



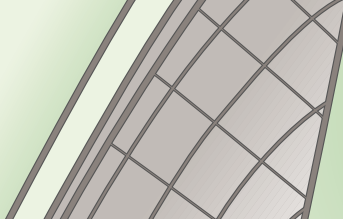
ケヤキの紅葉／花(4～5月)



クヌギ／花(4～5月)



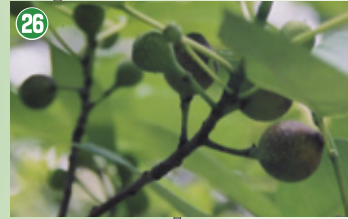
ヤマザクラ／花(4月)



イヌシデ／花(4～5月)



スギ林



スギの植林／花(3～4月)



ヤブツバキ／花(2～4月)



コックバネウツギ／花(5～6月)



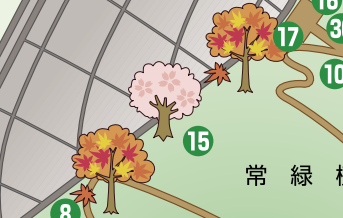
ヤマツツジ／花(5～6月)



ヤマツツジ／花(5～6月)



ヤマザクラ／花(4月)



イヌシデ／花(4～5月)



スギ林



スギの植林／花(3～4月)



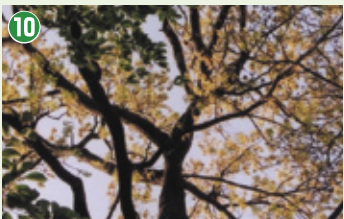
アカメガシワ／花(7月)



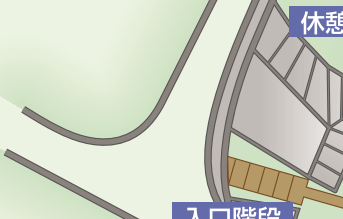
コマユミ／花(5～6月)



モミの球果／花(5月)



コナラ／花(4～5月)



ヤマザクラ／花(4月)



イヌシデ／花(4～5月)



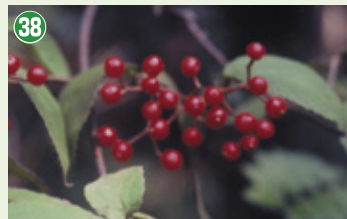
スギ林



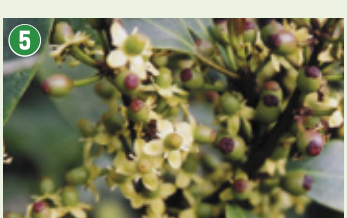
スギの植林／花(3～4月)



シロダモの実／花(10～11月)



コバノガズミの実／花(4～5月)



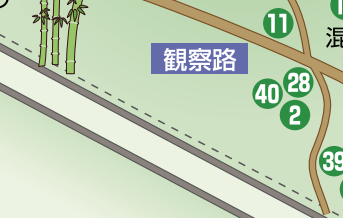
モチノキ／花(4～5月)



コナラ／花(4～5月)



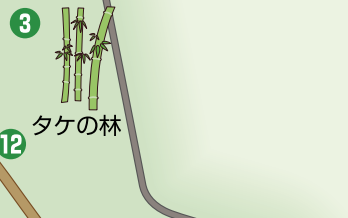
ヤマザクラ／花(4月)



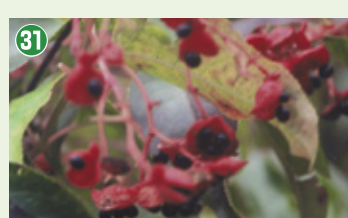
イヌシデ／花(4～5月)



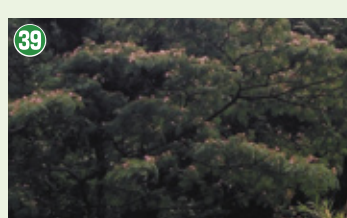
スギ林



スギの植林／花(3～4月)



ゴンズイの実／花(5～6月)



ネムノキ／花(6～7月)



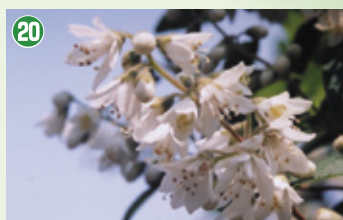
スダジイの樹冠／花(5～6月)



ノグミ／花(6～7月)



ヤマザクラ／花(4月)



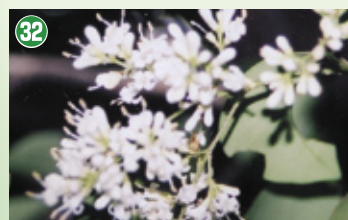
イヌシデ／花(4～5月)



スギ林



スギの植林／花(3～4月)



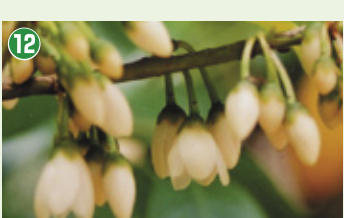
ネズミモチ／花(6月)



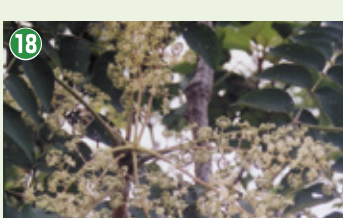
ヤツデ／花(10～12月)



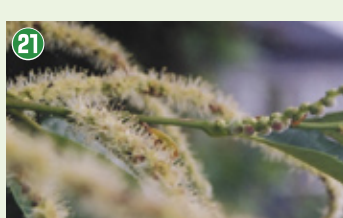
サカキ／花(6～7月)



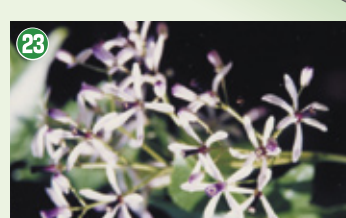
ノグミ／花(6～7月)



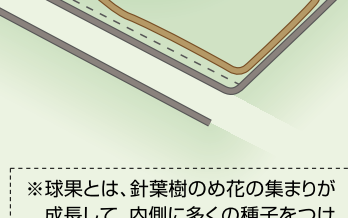
ヤマザクラ／花(4月)



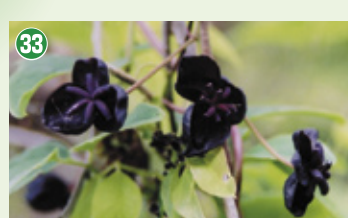
イヌシデ／花(4～5月)



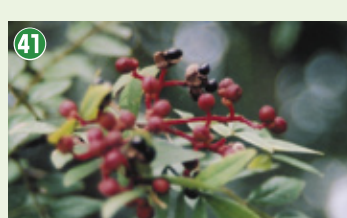
スギ林



スギの植林／花(3～4月)



ミツバアケビ／花(4～5月)



イヌザンショウの実／花(7～8月)



※球果とは、針葉樹のめ花の集まりが成長して、内側に多くの種子をつけているもの。